

日米ジョイントフォーラム2015

日米双方の医療制度の変化と将来

過去、20年以上にわたって、アメリカから医療・福祉のオーソリティを招いて、このフォーラムを開催してきました。地域包括ケア病床に関して、2010年にアメリカのLTAC病院のCEOの講演からスタートしたものと自負しております。

今年も、下記の講師による、日米双方の医療制度変化について学びたいと思っております。特に、わが国の医療制度の将来については、アメリカのオバマケアや社会の変化に伴う医療制度の変化が参考になるものと思っております。

これからの病院経営にとって、さまざまな機能の病院で参考になるものと思っております。お時間が許されるなら、ぜひ、ご参加を推奨申し上げます。

総合司会：岡田玲一郎 逐次通訳付き

講師陣のご案内及び演題

「米国における医師教育の現状」

米国の医療規制当局による医師教育改革の最新情報と実施手法について話してもらいます。

Dr. Paul Lecat アクロン総合メディカルセンター メディカルディレクター、
アクロン・オースティン・バイオイノベーション研究所 Ventriroscope発明者



「オバマケアにおけるLTACの今後 ～日本は何を学べるか～」

アメリカのLTACの経営的な現状と将来について話してもらいます。

Dr. Lee Pickler ボールドウィンワラス大学 ヘルスケアMBA教授



「LTACと地域包括ケア病棟」

日本でLTAC機能を立ち上げられ、その将来をも語って頂きます。

武久洋三先生 日本慢性期医療協会 会長



「またかという話と新しい話」

社会の変化が病院経営をもたらす事例を挙げてお話しします。

岡田玲一郎 社会医療研究所



<1月31日 大阪会場プログラム>

10:00～11:00
「LTACと地域包括ケア病棟」 武久洋三先生

11:00～12:30
「オバマケアにおけるLTACの今後
～日本は何を学べるか～」 Dr. Lee Pickler

13:15～15:15
「米国における医師教育の現状」 Dr. Paul Lecat

15:25～16:30
「またかという話と新しい話」 岡田玲一郎

<2月1日 東京会場プログラム>

10:00～12:00
「米国における医師教育の現状」 Dr. Paul Lecat

12:45～14:15
「オバマケアにおけるLTACの今後
～日本は何を学べるか～」 Dr. Lee Pickler

14:15～15:15
「LTACと地域包括ケア病棟」 武久洋三先生

15:25～16:30
「またかという話と新しい話」 岡田玲一郎

※各講師のプレゼンテーションの内容についての文責は岡田にあります。

【主催】 社会医療研究所 (〒114-0001 東京都北区東十条3-3-1-220 電話:03-3914-5565 FAX:03-3914-5576 E-mail: smri@mvi.biglobe.ne.jp)

【共催】 一般社団法人日本慢性期医療協会 日本長期急性期病床(LTAC)研究会
はあとふるグループ医療法人永広会 社会医療法人ペガサス馬場記念病院

【後援】 一般社団法人大阪府私立病院協会

※申込及び申込キャンセルの締切日は
1/23(金)です。

<大阪会場>

日時: 2015年1月31日(土)

10:00～16:30 (受付開始9:30)

会場: 毎日インテシオ ※地図は裏面参照

参加費 7,000円

<東京会場>

日時: 2015年2月1日(日)

10:00～16:30 (受付開始9:30)

会場: 全国町村会館 ※地図は裏面参照

参加費 8,300円

※東京会場の参加費は、お弁当代込です。

お申込み方法及び会場の詳細は裏面をご覧ください。